

「これからの早稲田大学—Waseda Vision(ワセダ・ビジョン)150」とは

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 今週の月曜日に、早稲田大学の国際会議場で全日本大学開放推進機構の会合がありましたので、行ってきました。これは、大学の正式な授業でなく、大学のいろいろな取り組みを社会に対して発するコミュニティー・カレッジあるいはエクステンションのようなものです。その会合で皆さんと一緒に勉強させていただいたのですが、早稲田大学の副総長の橋本周司先生が「これからの早稲田大学」についてお話をしてくださいました。非常に面白いお話でしたので、今日はその内容を皆さんにお伝えしたいと思います。
3. 早稲田大学は東京にあり、先日 130 周年を迎えました。これを受けて、橋本先生は「これから 20 年かけて 150 周年までに何をするか」というテーマで、非常に面白いお話をしてくださいました。これからの大学を考える場合に、早稲田大学のような取り組みをすところも増えると思いますので、是非皆さんと一緒に考えてみたいと思います。
4. 橋本先生がおっしゃるには、これからの大学に必要なことは、人間力・洞察力を備えたグローバルリーダーの育成だそうです。現在の早稲田大学には、1 年生から 4 年生までの学部生が 43900 名、約 44000 名いらっしゃるそうです。20 年後の 2032 年には、この数を 35000 名に減らしたいということです。減らしてどうするのかといいますと、現在 9300 名いる大学院生を、20 年後には 15000 名にするそうです。つまり、大学生(学部生)を減らして大学院生を増やしたいということです。ですから、これからの早稲田大学は学部生を減らしてまでも大学院生を増やすという方針をとっていくのです。また、留学生を増やし、今 4300 名いる留学生を約 2 倍以上の 10000 名にしたいということです。それから、早稲田大学の日本人の学生が海外に勉強しに行くのを、海外派遣の留学生といいます。今、早稲田大学から海外に勉強しに行っている海外派遣の留学生は 2399 名で、約 2400 名います。20 年後には大学生と大学院生の全学生数が 50000 名になりますが、この全学生を海外で勉強させるために派遣したいということです。
5. また、現在もホームページ等で授業内容などを少しは公開しています。その公開率は 0.3%ですが、20 年以内には 100%公開したいということです。早稲田大学では今どのようなことを教えているのか・どのようなテストが出たのかなどを web 上で公開したい。その公開率を今の 0.3%から 100%にしたいという考えです。おそらく映像や音声も含めて全部公開したいということでしょう。

6. 授業の進め方も変えるとのこと。対話型といいますか、問題を発見したり解決したりするような形の授業が1年生～4年生の学部では今29%行われていますが、これを75%にして対話型問題解決を目指したい。大学院ではそのような授業が55%行われていますが、これを80%にしたいということです。
7. もっとすごいのは、外国語による授業を増やすことです。現在は、1年生～4年生の学部では全体の授業の6%が外国語で行われています。これを、あと20年かけて50%にしたい。大学院は9%の授業が外国語で行われていますが、これもあと20年かけて50%にしたいということです。
8. さらに、私も勉強をしに行ったことがあります。社会人のための「早稲田エクステンション」では、今35000名の方が社会人教育を受けています。これは早稲田大学と少し離れた八丁堀の方で行われていますが、来年の4月からは中野にキャンパスをつくって社会人学生を全部で50000名にしたいとのこと。また、女性の常勤の先生は226名いますが、600名にしたい。外国人の先生は147名いますが、これを400名にしたいということです。
9. このように、早稲田大学は今後20年の間に大改革をするとのこと。そうすることによって、人間力・洞察力を備えたグローバル人材を育成したり、将来をイノベーションする独創的な研究を推進したり、社会に出た方も生涯にわたって早稲田大学で勉強したりできるようにしようとしています。これが、これからの大学かもしれません。ほかの大学でもいろいろな改革をしていますが、早稲田大学の場合ほとんどの学部の学生の数を減らしてまでも大学院生や外国人の学生の数を増やす、大学に行きながら外国で勉強する方を2400名から全学生にする。今は0.3%しか公開していない授業をwebで100%公開する、外国語による授業を6%あるいは9%から50%にする、このような非常に大きな改革を進めようとしています。
10. これからの大学は、高校を卒業した方だけでなく、社会に一回出た方も入り直せる大学になります。また、高校を卒業後にすぐ大学へ行く方も、ただ教えてもらうのではなく、対話型問題解決の授業になります。日本語だけで教わるのではなく、外国語で行う授業が多くなります。ですから、よほど中学校・高校時代に勉強しておかないといけないと思います。頑張って小学校・中学校・高校時代を過ごしてもらいたいと思います。
11. 早稲田大学の橋本副総長先生から「これからの早稲田大学— Waseda Vision (ワセダ・ビジョン) 150」のテーマで、150周年に向けて20年間かけてこのような大学にしたいというお話をお聞きしましたので、今日はそれをお伝えいたしました。大学も面白く、これからは大学に頼るところが非常に多くなるということもちょっと考えました。栃木県の大学も頑張っていたきたいと思います。